

地域計画

策定年月日	令和 7年 3月 31日
更新年月日	令和 年 月 日 ()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	大分県由布市 (442135)
地域名 (地域内農業集落名)	中尾 (中尾)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	30.2 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	30.2 ha
② 田の面積	30.1 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	3.1 ha
(参考)区域内における80才以上の農業者の農地面積の合計	2.2 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	0.0 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における80才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

地域内で主に栽培している作物は米、WCS、トウガラシ、一般的な野菜である。農業者は高齢化しており、後継者不足が心配される。現在取組を行っているものは鳥獣被害防止対策、農地の保全・管理等、飼料用作物の栽培である。地域が抱える課題として農業者の高齢化や減少、農業にかかる経費の増加、農家収入の低下、新規の担い手不足、遊休農地の増加、鳥獣被害の増加、有害鳥獣の駆除人材の不足、機械等の共同利用が進まないこと、農業用機械の購入ができないこと、新技術導入のための知識不足が挙げられる。これらの課題の原因や理由として主に挙げられるのは、高齢化と担い手不足である。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

減農薬や化学肥料の削減による環境保全型農業に取り組むこと、担い手確保のため地域で新規就農希望者との交流を図ること、地域の良いところを積極的に情報発信し、移住促進を行うことを目指す。また、地域の所得向上に向け、作物のブランド化に取り組みたいと考えている。現在、地域ではトウガラシ、古代米を育てることに取り組み、地域の所得向上を目指している。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農事組合法人と認定農業者を中心となる経営体として位置付ける。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	1	%	将来の目標とする集積率
			1 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
集落営農組合と認定農業者に集約化することを目標とする。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとすべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
今後離農者が出た場合は、中心となる経営体に農地を集積し、低コスト化、規模拡大を図り、耕作放棄地にならないよう保全に努める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農地の管理ができなくなった場合に活用する。
(3)基盤整備事業への取組
予定なし。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
農地の保全は、地域住民だけでは限界があるため、移住者に頼りたい。移住者の住まいの確保(空き家対策)は、行政主導で他市の事例を参考に有効な取組を積極的に行ってほしいと考えている。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
由布市農業サポートに委託し、「ウンカ」と「稲こうじ」の予防をする。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

- ①防護柵の設置及び点検を行う。
- ⑦引き続き中山間事業を活用し、保全・管理等を行っていく。
- ⑨飼料用作物。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

※経営面積 0ha = 0.1ha未満の担い手

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作物等	経営面積	作業受託面積	経営作物等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者		水稲、野菜等	0.7 ha	— ha	水稲、野菜等	0.7 ha	— ha	1	
利用者		水稲、野菜等	0.4 ha	— ha	水稲、野菜等	0.4 ha	— ha	2	
利用者		—	— ha	— ha	水稲、野菜等	1.3 ha	— ha	3	
利用者		水稲、野菜等	0.2 ha	— ha	水稲、野菜等	0.2 ha	— ha	4	
利用者		水稲、野菜等	1.4 ha	— ha	水稲、野菜等	1.4 ha	— ha	5	
利用者		水稲、野菜等	3.7 ha	— ha	水稲、野菜等	3.7 ha	— ha	6	
利用者		水稲、野菜等	2.9 ha	— ha	水稲、野菜等	2.9 ha	— ha	7	
利用者		水稲、野菜等	2.2 ha	— ha	水稲、野菜等	2.2 ha	— ha	8	
利用者		水稲、野菜等	2.5 ha	— ha	水稲、野菜等	2.5 ha	— ha	9	
利用者		水稲、野菜等	1.4 ha	— ha	水稲、野菜等	1.4 ha	— ha	10	
利用者		水稲、野菜等	1 ha	— ha	水稲、野菜等	1 ha	— ha	11	
利用者		水稲、野菜等	0.5 ha	— ha	水稲、野菜等	0.3 ha	— ha	12	
利用者		水稲、野菜等	1.2 ha	— ha	水稲、野菜等	1.2 ha	— ha	13	
利用者		水稲、野菜等	0.1 ha	— ha	水稲、野菜等	0.1 ha	— ha	14	
利用者		水稲、野菜等	0.3 ha	— ha	水稲、野菜等	0.3 ha	— ha	15	
利用者		水稲、野菜等	0.7 ha	— ha	水稲、野菜等	0.7 ha	— ha	16	
利用者		—	— ha	— ha	水稲、野菜等	0.7 ha	— ha	17	
利用者		水稲、野菜等	0.8 ha	— ha	水稲、野菜等	0.8 ha	— ha	18	
利用者		水稲、野菜等	0 ha	— ha	水稲、野菜等	0 ha	— ha	19	
利用者		—	— ha	— ha	水稲、野菜等	1 ha	— ha	20	
利用者		水稲、野菜等	3 ha	— ha	水稲、野菜等	3 ha	— ha	21	
認農		水稲、野菜等	0.5 ha	— ha	水稲、野菜等	0.5 ha	— ha	22	
利用者		水稲、野菜等	1 ha	— ha	水稲、野菜等	1 ha	— ha	23	
利用者		水稲、野菜等	0.8 ha	— ha	水稲、野菜等	0.8 ha	— ha	24	
利用者		水稲、野菜等	0.9 ha	— ha	水稲、野菜等	0.9 ha	— ha	25	
計	25経営体		26.2 ha	0 ha		29 ha	0 ha		

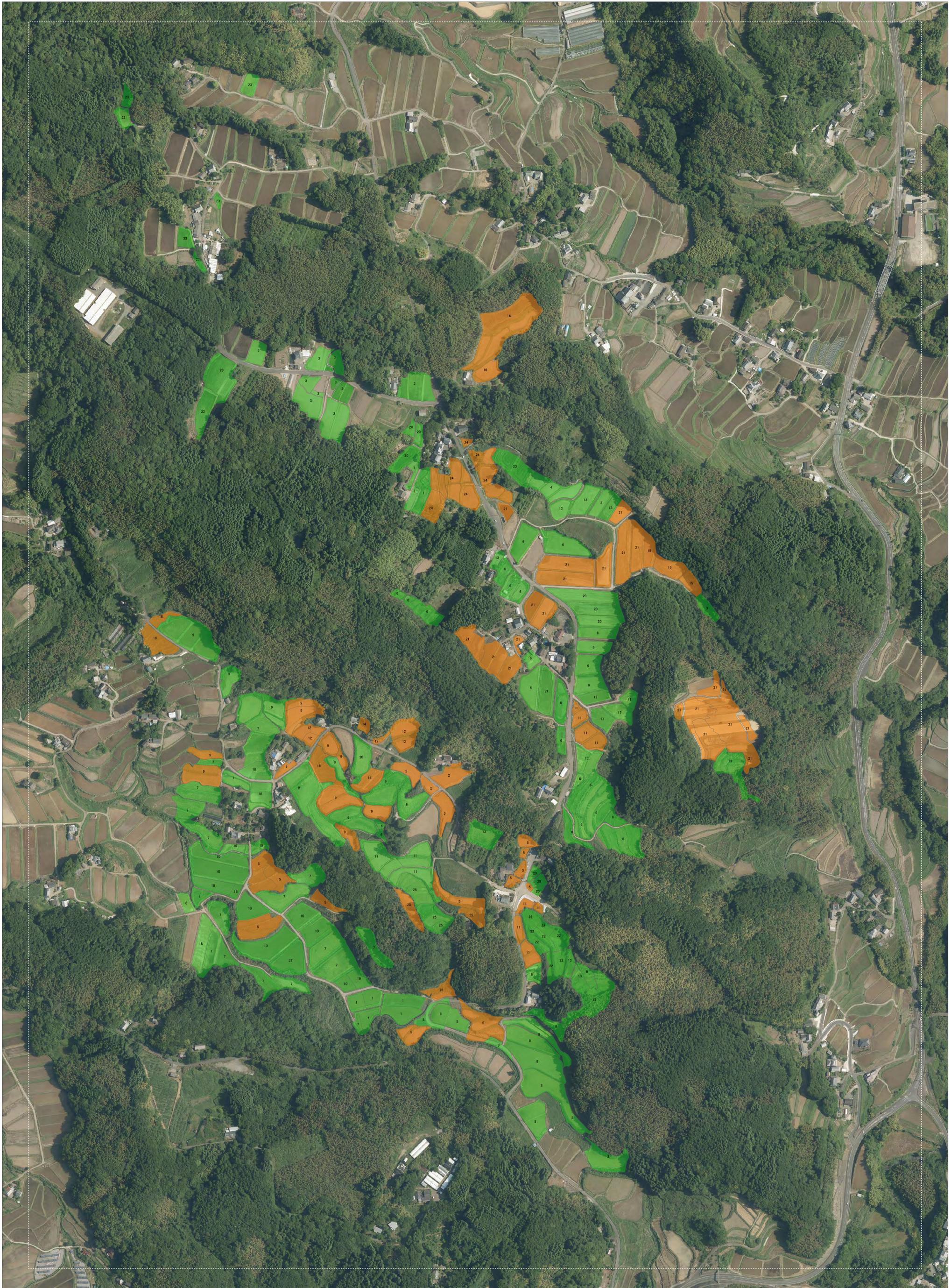
注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業体(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。



【凡例】 10年後も担い手あり ■ 検討中 ■ 維持管理をする土地 ■